



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 9070 URL http://www.tonamiholdings.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)綿貫 勝介
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)輪達 光春 (TEL)0766(32)1073
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	87,843	△2.1	2,530	91.2	2,753	86.2	1,666	110.3
24年3月期第3四半期	89,766	△0.3	1,323	32.0	1,478	17.0	792	137.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,639百万円(23.2%) 24年3月期第3四半期 1,330百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18 36	—
24年3月期第3四半期	8 73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	112,745	47,317	41.6
24年3月期	116,085	46,045	39.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 46,948百万円 24年3月期 45,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2 00	—	2 00	4 00
25年3月期	—	2 00	—		
25年3月期(予想)				2 00	4 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,100	△1.4	2,600	85.3	2,900	79.2	1,500	137.3	16 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	97,610,118株	24年3月期	97,610,118株
25年3月期3Q	6,852,940株	24年3月期	6,845,870株
25年3月期3Q	90,761,014株	24年3月期3Q	90,769,965株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他注記情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日、以下「当第3四半期」という。)におけるわが国の経済は、東日本大震災後の復興関連需要や企業の生産活動の回復、個人消費などにおける緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化や海外経済の減速による輸出の減少もあり、景気の停滞感が一段と深まる状況となっております。一方で、昨年12月の政権交代以降、円安・株高基調もあり、景気回復への期待感も高まっております。

物流業界におきましても、こうした経済情勢を受けて国内貨物輸送量の低迷、国際貨物輸送における輸出の減少など、依然として厳しい状況で推移しました。

このような中で、当社グループの当第3四半期の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の安定的収益確保、重点とする3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業をはじめとする関連事業の拡大につとめる一方で、収益内容の見直しを促進いたしました結果、営業収益は87,843百万円と、前年同四半期に比べ1,923百万円(2.1%)の減収となりました。

また、利益面におきましては、運賃・料金の見直しや燃料費の上昇懸念など収益性マイナス要因もありましたが、昨年4月からスタートいたしました「中期経営3ヶ年計画」の骨子のひとつである「事業構造改革」を推進しました結果、営業利益は2,530百万円と前年同四半期に比べ1,207百万円(91.2%)の増益となりました。

経常利益は2,753百万円を計上し、前年同四半期に比べ1,274百万円(86.2%)の増益となりました。

四半期純利益は1,666百万円となり、前年同四半期に比べ873百万円(110.3%)の増益となりました。

セグメントの業績を説明いたしますと、次のとおりです。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①物流関連事業

当第3四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業における既存顧客の受託業務の拡大および新規顧客の開拓等につとめましたが、不採算取引の見直しや、輸出関連の物流需要の低迷もあり、営業収益は80,238百万円と前年同四半期に比べ1,390百万円(1.7%)の減収となりました。

セグメント利益は、燃料費の上昇懸念もありましたが、重点とする3PL事業の収益性改善、主力の貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の業務効率向上によるコスト低減などにより1,989百万円を計上し、前年同四半期に比べ1,214百万円(156.7%)の増益となりました。

②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は1,763百万円となり、前年同四半期に比べ136百万円(7.2%)の減収となりました。セグメント利益は133百万円を計上し、前年同四半期に比べ90百万円(208.0%)の増益となりました。

③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は5,245百万円となり、前年同四半期に比べ274百万円(5.0%)の減収となりました。

セグメント利益は233百万円を計上し、前年同四半期に比べ125百万円(34.9%)の減益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で営業収益595百万円を計上し、前年同四半期に

比べ121百万円(17.0%)の減収となりました。

セグメント利益は107百万円を計上し、前年同四半期に比べ23百万円(28.2%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は112,745百万円となり、前連結会計年度に比べ3,339百万円(2.9%)減少しました。これは主として流動資産で現金及び預金が3,008百万円、その他流動資産が1,084百万円減少したことなどによります。

負債は65,428百万円となり、前連結会計年度に比べ4,610百万円(6.6%)減少しました。これは主として流動負債で短期借入金が2,062百万円、賞与引当金が576百万円、固定負債で退職給付引当金が913百万円減少したことなどによります。

純資産は47,317百万円となり、前連結会計年度に比べ1,271百万円(2.8%)増加しました。これは主として四半期純利益を計上するなどして利益剰余金が1,387百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の39.4%から41.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済情勢につきましては、政府による経済対策の効果や円安による輸出の増加などにより緩やかな回復基調に向う期待感がある一方で、依然として海外景気の下振れリスクがあるなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境の中、当社グループは、「中期経営3ヶ年計画」のビジョンに基づき成長戦略の進展を図ると共に、物流サービス・品質の一層の向上による市場競争力向上、業務量に応じた適正要員体制の構築など、コストコントロールの徹底による収益基盤の強化により、業容の拡大に邁進してまいります。

事業環境が著しく変化する中、中核事業会社等におきましては、経営管理システムを導入して日次収支管理を活用することにより、経営資源の効率的運用、一層の高品質でコストパフォーマンスの高いサービスの実現を目指しております。

また、昨年9月より同業3社の合弁による幹線輸送の効率化に取り組んでおり、今後集配業務改革をはじめとする生産性向上施策などの推進により、物流ニーズへの対応力強化を図ってまいります。

通期業績予想につきましては、当第3四半連結期累計期間の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表しました予想値を変更しております。

(平成25年2月4日発表)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	120,200	2,000	2,300	1,020
今回修正予想 (B)	116,100	2,600	2,900	1,500
増減額 (B-A)	△4,100	600	600	480
増減率 (%)	△3.4	30.0	26.0	47.0
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	117,709	1,403	1,618	632

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,635	5,627
受取手形	3,636	3,486
営業未収入金	16,382	17,073
たな卸資産	605	692
繰延税金資産	510	319
その他	3,318	2,234
貸倒引当金	△45	△45
流動資産合計	33,044	29,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,340	22,087
機械装置及び運搬具(純額)	2,050	2,224
土地	41,303	41,040
その他(純額)	6,902	6,883
有形固定資産合計	71,597	72,236
無形固定資産		
のれん	95	17
その他	780	759
無形固定資産合計	875	777
投資その他の資産		
投資有価証券	5,630	5,818
破産更生債権等	115	180
繰延税金資産	298	30
その他	4,881	4,724
貸倒引当金	△357	△411
投資その他の資産合計	10,567	10,343
固定資産合計	83,040	83,357
資産合計	116,085	112,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	787	901
営業未払金	10,140	10,279
短期借入金	13,490	11,427
1年内返済予定の長期借入金	1,207	3,143
1年内償還予定の社債	—	3,000
未払法人税等	416	382
未払消費税等	204	436
賞与引当金	818	241
その他	7,157	6,971
流動負債合計	34,222	36,784
固定負債		
社債	3,000	—
長期借入金	7,452	4,698
再評価に係る繰延税金負債	4,741	4,695
退職給付引当金	14,079	13,165
役員退職慰労引当金	154	125
負ののれん	229	172
その他	6,158	5,786
固定負債合計	35,817	28,644
負債合計	70,039	65,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	15,007	16,394
自己株式	△2,016	△2,017
株主資本合計	38,855	40,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	377
土地再評価差額金	6,413	6,329
その他の包括利益累計額合計	6,840	6,706
少数株主持分	349	368
純資産合計	46,045	47,317
負債純資産合計	116,085	112,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	89,766	87,843
営業原価	83,677	80,676
営業総利益	6,089	7,166
販売費及び一般管理費	4,765	4,635
営業利益	1,323	2,530
営業外収益		
受取利息	128	163
受取配当金	106	96
受取家賃	126	104
負ののれん償却額	57	57
持分法による投資利益	37	51
その他	160	188
営業外収益合計	616	661
営業外費用		
支払利息	378	366
その他	82	72
営業外費用合計	460	438
経常利益	1,478	2,753
特別利益		
固定資産売却益	207	310
移転補償金	56	—
受取保険金	—	57
その他	9	71
特別利益合計	273	438
特別損失		
固定資産売却損	15	7
投資有価証券評価損	14	9
固定資産除却損	32	54
災害による損失	28	44
和解金	—	111
その他	14	32
特別損失合計	106	259
税金等調整前四半期純利益	1,646	2,932
法人税、住民税及び事業税	644	689
過年度法人税等	—	112
法人税等調整額	209	442
法人税等合計	854	1,243
少数株主損益調整前四半期純利益	792	1,689
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	23
四半期純利益	792	1,666

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	792	1,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	△48
土地再評価差額金	678	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	538	△50
四半期包括利益	1,330	1,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	1,616
少数株主に係る四半期包括利益	△0	22

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	81,628	1,899	5,520	89,048	717	89,766	—	89,766
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	19	172	4,079	4,272	511	4,783	△4,783	—
計	81,648	2,072	9,599	93,321	1,228	94,550	△4,783	89,766
セグメント利益	774	43	358	1,176	84	1,260	62	1,323

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額62百万円にはセグメント間消去547百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△484百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	80,238	1,763	5,245	87,247	595	87,843	—	87,843
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	28	200	3,714	3,943	625	4,568	△4,568	—
計	80,267	1,963	8,959	91,190	1,221	92,411	△4,568	87,843
セグメント利益	1,989	133	233	2,356	107	2,464	66	2,530

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額66百万円にはセグメント間消去533百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△466百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他注記情報

事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
		%		%		%
物流関連事業	(81,628)	(91.0)	(80,238)	(91.3)	(△1,390)	(△1.7)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	62,026	69.1	61,147	69.6	△879	△1.4
倉庫事業	15,059	16.8	14,575	16.6	△483	△3.2
港湾運送事業	4,542	5.1	4,515	5.1	△27	△0.6
情報処理事業	(1,899)	(2.1)	(1,763)	(2.0)	(△136)	(△7.2)
販売事業	(5,520)	(6.1)	(5,245)	(6.0)	(△274)	(△5.0)
その他	(717)	(0.8)	(595)	(0.7)	(△121)	(△17.0)
合計	89,766	100.0	87,843	100.0	△1,923	△2.1

(注)その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業等の各収入を含めて表示しております。